

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 9 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
おいしいコーヒーの未来のために自然環境を守る活動や、持続可能な社会を保つ活動を通して、地域を盛り上げる			
事業所・団体等又は関連事業者等としてののねらい、特徴的な活動			
コーヒーを抽出する際に出るコーヒーかすを使用して肥料を作り、地元企業と協力してフードロス、ゴミの削減、新たな産業の基盤づくりへ取り組んでいる。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標
	コーヒーかすの廃棄量を0に	コーヒーかすの廃棄量を0に	コーヒーかすの廃棄量を0に
	高校生との交流の機会を増やす（2回→4回）	・高校生との授業を4回実施 ・大学生の研究課題としてコーヒーかすを採用	・学生との交流機会を増やす（年5回）
	男女雇用数の均等化を目指す	・女性社員の積極的採用（2名） ・男女雇用数の均一化を達成	・女性スタッフの積極的採用（新規年採用者の60%） ・女性社員発信の商品を開発（年2個）
	コーヒー農園へ焙煎士を派遣（0回→1回）	感染症の影響も大きく、農園の視察は見合わせとなった。	
	ダルマ展の展示点数を増やす（前年比+5個）	ダルマ展示点数前年比+25点	デザインダルマ展を継続して開催。ダルマの完売を目指す。
			コーヒー以外のフェアトレード製品の採用（5個）
	市内での出店数を増やす（月1回→月2回）	市内での出店を月2回以上実施	地元企業とのコラボ商品を企画（年3個）
	コーヒーかす肥料の生産を持続的に行い、商品化を目指す。	コーヒーかす肥料の生産を持続的に行うことはできたが、肥料そのものの商品化には至らず。	コーヒーかす肥料の商品化を目指す。
	作った肥料で作物を生産する。	コーヒーかす肥料で育てた野菜を店頭にて販売、店での提供メニューにも使用	コーヒーかす肥料で育てた作物での商品企画（5個）
	選挙投票に行く若年層の数を増やす（10人→50人）	選挙投票でのドリンク無料サービス参加者100名を突破	選挙投票へ行った方へドリンク無料サービスを実施、多くの人に地元の政治に興味を持ってもらう（100人→150人）
	地元企業と協力して肥料作りをし、SDGsについての発信を行う（メディア取材1回）	地元企業と協力して肥料作りをし、SDGsについての発信を行う（メディア取材1回）	・地元企業から廃棄するものを回収して、肥料作りや新しい取り組みを実施（年5社）

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社 hug coffee company	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	3 事業所
2	業 種	10. 宿泊・飲食業	
3	従業員（構成員）数	11 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	古閑 大士
5	所 在 地	〒 420-0032	
		静岡市葵区両替町1-3-9 わかさビル1F	
6	ホームページURL	https://hugcoffee.co	